

meine ersten Spiele

Wir räumen auf

初めてのゲーム ニャンコとおかたづけ

1人でも、協力しながらでも、時には競い合っても遊ぶことができる2歳からのおかたづけゲームです。
最大3人までの小さなおかたづけ上手なお友達で楽しめます。

セット内容：おもちゃ棚×1・タンス枠×3・ニャンコ×1
おもちゃのカード×18（ぬいぐるみ×6 のりもの×6 ブロック×6）

保護者の方へ

この度は、初めてのゲームシリーズをご購入いただきありがとうございます。これらのゲーム遊びを通してお子様はルールや成長におけるあらゆることを学びます。

説明書内にはいくつかのルール展開が用意されているため様々なお片づけ遊びをお楽しみいただけます。お子様は、手の操作や、目と手の協調、お話を、物の名前を覚えながら、お片づけを身に着けていきます。是非、お子様に説明をされる際は、楽しく説明してあげてください。そうすることで、お子様は遊びの世界へ引き込まれていきます。楽しみながら正しい遊び方を通して、物を元の場所へ戻すとは何か、お片づけとは何かを学びます。

何よりも、楽しみながら遊ぶことが大切です。遊びを通してこそ学ぶということ、遊ぶことでしか学べないということをお伝えして、皆様とお子様との愉快なお片づけの時間を存分にお楽しみください。

遊びの発明家

ゲームを始める前に おもちゃ棚を組み立てよう。



写真のように、おもちゃ棚に仕切り板、扉を取り付けてください。カードは玩具箱の横におきましょう。

(P.1)

ゲームのはじめ方

お気に入りのぬいぐるみと最近遊んだお友達から時計まわりで遊びます。

「何をおかたづけする？」と子どもにたずねてあげます。

決めたおもちゃカードの横にニャンコを置きます。

★「ディベアはどうぶつのぬいぐるみの仲間ね」や「ディベアが一番下のぞうさんのぬいぐるみにかたづけようね」など、言葉をかけながら、元の場所にかたづけられることができるよう手助けしてあげましょう。

「（おもちゃカードは）何の絵が描いてある？」「これはどこの棚にかたづけられるの？」

とたずねてあげます。

選んだおもちゃの名前を言いながら、おもちゃ棚の元の場所にカードを入れます。

どこへかたづけられるかわからない場合は教えあって協力してあげましょう。カードを片づければ次の人の番です。またニャンコをおかたづけするおもちゃカードの横に置いてすすめます。

★実際に、お子様のおもちゃを片付ける箱や棚にもお片づけしやすい工夫をしてあげましょう。積み木は青色の箱へ、車は赤色の箱へと分かりやすくはこの色を変えてあげたり、おもちゃの写真をかたづけの箱や、場所に貼ってあげたりすることで分類することや、片づけるというこを遊びの中で学びます。

ゲームの終わり方

すべてのおもちゃカードが片づけられれば、おもちゃ棚をそっと開け正しくおかたづけができたかを確認します。

「全部おかたづけできたかな？」

一番下のぬいぐるみの棚から、おもちゃが元の場所にかたづけられているのか一緒に確認します。間違ったカードがあった場合は、そのカードを横に集めておき、確認後、「もう一度これをかたづけようね」と確認してあげます。すべてもとの場所に正しくおかたづけができれば、「これで明日もおもちゃで遊ぶことができるね。」と褒めてあげてください。

どこにおかたづけ？ 対戦型遊び方 2人～

おもちゃ棚の前に、シャッフルしたおもちゃカードをすべて裏向けて並べます。

各プレイヤーは、ぬいぐるみの棚、のりもの棚、ブロックの棚の中から、自分のおかたづけの棚を決めます。自分のおかたづけの棚にかたづけられるべきおもちゃを先に4つ集めたプレイヤーが勝ちです。一番年上のプレイヤーからはじめます。

「このおもちゃはあなたの棚にかたづけられることができる？」とたずねます。

・自分の棚のおもちゃが出た場合…そのままカードを表向きにして、自分の前に置きます。

※棚へはまだ戻しません。

・自分の棚のおもちゃでない場合…カードを裏向きに戻します。

先に4枚自分のおもちゃカードを集めた人が勝ちです。

誰かが4枚になった時点でゲームは終了です。勝った人が、すべてのカードをおもちゃ棚にかたづけられます。

(P.3)

創造性は…

創造的な遊びから、お子さんは多くのことを学びます。是非一緒に遊んであげてください。おもちゃのタンスの絵とカードの絵がどう関係しているのか、実際に持っているおもちゃは何なのか…など、たくさん質問やや会話をなげかけて、お話をいっぱいさせてあげてください。「お部屋の中にあるおもちゃは何？」「カードの絵と同じおもちゃはある？」など声をかけてあげましょう。

もしも絵カードの中にまだ知らないおもちゃがあるならば、名前やどのように使って遊ぶものかを教えてあげましょう。お子さんは見ること、真似ることを通して学んでいきます。棚の絵と、絵カードを見比べながら、何が同じで、どのカテゴリーに分類されるのかを見つけていきましょう。これらを繰り返し、概念を知り、ぬいぐるみはぬいぐるみの棚へ、のりものは乗り物の棚へ、ブロックはブロックの棚へ片付けるということを学びます。

「どうしてその棚に片付けるの？」ということをつねるのも大切です。

もちろん先に見本をみせてから「どうしてこれはこのぬいぐるみの棚だと思うの？」や「これとこれが同じだとどうして分かったの？」という具合です。お子さんの行動に言葉や物語をつけてあげることも遊びを豊かにします。

これらの遊びの中で子どもたちは物を元の場所に片付けるということをしっかりと学びます。

特に小さな子どもたちは、何度も何度も繰り返し遊び学びます、大人である私たちは彼らを励まし楽しみながら遊ばせてあげることを心得ておかなければいけません。このようなあそびが、結果お片づけという習慣につながります。

どこにおかたづけ？ 協力系遊び方

一日中お部屋で遊んでいたニャンコ、気づけばお部屋がおもちゃで散らかってしまいました。夕方になり、お母さんニャンコが夕ご飯の時間だと知らせにお部屋に来てびっくり！「夕ご飯までに、お部屋のちらかったおもちゃをもとあった場所へおかたづけしないと明日もおもちゃであそべませんよ。」とニャンコに言いました。いざ、おかたづけをしようと思渡すと、どこに何を片付けるのかわかりません。困っているニャンコにどこへ何を片付けるのか教えてあげながらお片づけを手伝ってあげましょう。

ゲームの前に…

おもちゃ棚を真真中に置き、その横にニャンコを置きます。おもちゃのカードをシャッフルし表向けに棚の前に並べます。

★子どもが慣れてくるまで、最初はおもちゃカード数枚のみを並べ、遊ぶことをおすすめします。慣れてくれば、少しずつカードの数を増やしていくと良いでしょう。

(P.2)

どこにおかたづけ？ 対戦型遊び方（総合せ）2人～

おもちゃ棚の前に、シャッフルしたおもちゃカードをすべて裏向けて並べます。

各プレイヤーは、ぬいぐるみの棚、のりもの棚、ブロックの棚の中から、自分のおかたづけの棚を決めます。カードを2枚めくり、同じ仲間のおもちゃであれば自分の棚にカードを入れることができます。一番多く絵を合わせ、カードを棚に入れたプレイヤーが勝ちです。

「カードを2枚めくってね」と伝え、それらのカードが同じ種類のおもちゃかどうか確認します。

・2枚とも同じ種類のおもちゃが出た場合…そのままカードを自分の棚に入れます。

・同じ種類のカードではなかった場合…カードを裏向きにして戻します。

ゲームの終わり方 すべてカードが場からなくなれば、棚を開けてだれの棚が一番多くカードが入っているかを確認します。勝者は1名とは限りません。

どこにおかたづけ？ 対戦型遊び方 2人～

おもちゃ棚の前に、シャッフルしたおもちゃカードをすべて裏向けて並べます。

各プレイヤーは、ぬいぐるみ、のりもの、ブロックのおもちゃがそれぞれ描かれた長方形のおもちゃカードを選び、自分のおかたづけをするおもちゃを決めます。一番年下のプレイヤーからはじめます。

「おもちゃ箱のおもちゃとおなじおもちゃはある？」とたずねます。

・同じおもちゃが出た場合…おもちゃ箱の同じおもちゃの上にカードを置きます。

・おもちゃ箱のおもちゃ以外が出た場合…出たカードが他のプレイヤーのおもちゃ箱のおもちゃであれば、そのプレイヤーにカードを渡さなければいけません。そのプレイヤーのおもちゃ箱にも同じものがない場合は、おもちゃ棚へかたづけず。

これを繰り返します。

ゲームの終わり方

自分のおもちゃ箱と同じおもちゃが先に3つそろったプレイヤーが勝ちでゲーム終了です。



製造元：ドイツ・ノバ社
輸入販売元：(株)ブラザー・ジョルダン社

(P.4)